

# 大学生の身長、体重の推移 1970年代と2000年代の比較

齊藤 郁夫\* 河邊 博史\*

1972年の保健管理センター発足以前から、塾内の情報科学研究所（情科研）と連携し、大学生の健診結果のデジタル化が行われていた。その記録の多くは散逸し、また、容易には読解できない状態であるが、一部、所長用の記録として保存されているものもある。2004年、新臨床研修制度の発足とともに、医学部内科から健診担当の若手医師の派遣が打ち切られたことにより保健管理センターの専任医師が健診において内科を担当している。近年、背の高い学生が多くなったとの印象があるが、過去約40年間の変化を見る目的で1969年以後1970年代と2000年代の比較を行った。

## 対象と方法

1969年から1981年までの所長用の記録の身長、体重の結果および1999年以後作成されている慶應義塾大学保健管理センター年報<sup>1)</sup>からの身長、体重について抽出した。

## 成 績

### 1. 健診受診数（表1）

1969年から2004年までは20000人前後であった。1973年は大学紛争のため2年生、3年生の健診が行われていない。2005年以後は健診受診率が上がり、20000人を超え、最近では

30000人に近くなっている。男女比は6:1であったが、女性が徐々に増加し、2000年ごろからは2:1となっている。1978年のみ健診受診率が計算されており、1年生88.9%、2年生68.7%、3年生60.8%、4年生90.3%であった。なお、2011年の健診受診率は1年生96.7%、2年生87.4%、3年生89.4%、4年生87.6%であった。

### 2. 身長、体重の推移

1969年には男性の平均が169.8cm、60.1kg、女性の平均が157.5cm、49.7kgであったが、徐々に増加し、2011年には男性で172.2±5.8（標準偏差）cm、64.1±9.6kg、女性で159.1±5.2cm、51.1±6.6kgとなった。

## 考 察

この40年間で慶應義塾の大学生の身長は男性で約2.4cm、女性で約1.6cm、体重は男性で約4kg、女性で約1.5kg増加していた。

日本全体では、女性と男性に関する統計データベースにある1975年の厚生労働省「国民健康・栄養調査」によると20歳男性で166.9cm、58.6kg、女性で156.1cm、49.7kgが平均とされている<sup>2)</sup>。2012/2013年「国民衛生の動向」によると2009年の厚生労働省「国民健康・栄養調査」において18歳男性で171.7cm、

\* 慶應義塾大学保健管理センター

表1 性別健診受診数、身長、体重の推移

年	受診数(男) 受診数(女)		身長(cm)(男)		体重(kg)(男)		身長(cm)(女)		体重(kg)(女)	
			平均	標準偏差	平均	標準偏差	平均	標準偏差	平均	標準偏差
1969	17991	2616	169.8		60.1		157.5		49.7	
1970	17456	2444	169.9		60.1		157.7		49.8	
1971	17466	2438	169.9		60.4		157.8		50.4	
1972	17170	2504	169.7		60.3		157.5		50.2	
1973	5615	964	170.2		60.1		157.5		49.6	
1974	15707	2531	170.2		60.3		157.7		49.9	
1975	15196	2493	170.1		60.3		157.7		49.8	
1976	14961	2369	170.0		60.7		157.6		50.0	
1977										
1978	15353	2401	170.4		60.9		158.0		49.8	
1979	15482	2562	170.5		61.7		157.9		50.2	
1980	15978	2589	170.7		61.8		158.3		50.7	
1981	16481	2735	170.9		61.9		158.3		50.6	
1982~1998										
1999	13924	5832	171.9	5.6	62.7	8.8	159.1	5.1	50.0	6.3
2000	14263	5817	171.8	5.7	62.6	8.8	159.0	5.2	50.1	6.3
2001	13973	6318	172.0	5.7	62.6	9.0	159.1	5.2	50.2	6.4
2002	17124	6637	172.1	5.7	63.2	8.9	159.2	5.2	50.6	6.4
2003	13802	6923	172.1	5.7	63.2	9.0	159.1	5.2	50.7	6.4
2004	14367	6986	172.1	5.7	63.2	9.2	159.1	5.2	50.6	6.4
2005	17759	8426	172.1	5.7	63.6	9.2	159.0	5.2	50.9	6.6
2006	18020	8653	172.2	5.7	63.7	9.2	159.0	5.2	51.0	6.6
2007	18167	8679	172.1	5.7	64.9	9.4	159.2	5.2	50.9	6.3
2008	18794	9385	172.1	5.7	63.5	9.3	159.1	5.2	50.9	6.5
2009	19402	9499	172.2	5.7	63.6	9.3	159.2	5.2	51.0	6.6
2010	19671	9599	172.2	5.8	63.9	9.6	159.2	5.3	51.1	6.6
2011	19939	9820	172.2	5.8	64.1	9.6	159.1	5.2	51.1	6.6

\* 1977および1982~1998はデータなし

63.3kg, 19歳男性で172cm, 65.1kg, 20歳男性で173.5cm, 64kg, 21歳男性で170.1cm, 60.9kg, 18歳女性で158.2cm, 52.3kg, 19歳女性で157.7cm, 51.4kg, 20歳女性で157cm, 49.5kg, 21歳女性で159cm, 50.8kgとされている<sup>3)</sup>。すなわち、この35年で20歳男性は約6cm, 5kg増加, 女性で3cm増加, 体重はほぼ変化なしと考えられる。慶應義塾の大学生の身長、体重は1970年代では全国平均を上回っていたが、現在では全国平均と同様になったと考えられる。

## 総括

1. 慶應義塾の大学生の過去約40年の身長、体重の推移を健診記録のまとめから検討した。

2. 全国の平均と比べると慶應義塾の大学生の身長、体重は1970年代では全国平均を上回っていたが、現在では全国平均と同様になったと思われる。

## 文献

- 1) 慶應義塾大学保健管理センター年報 1999～2011 慶應義塾大学保健管理センター
- 2) E-Stat 政府統計の総合窓口 女性と男性に関する統計データベース 性別身長と体重の変化(1975-2009) 2013年1月9日にアクセスした
- 3) 厚生省の指標, 国民衛生の動向2012/2013 59(9): 450, 2012